

6月議会 ご報告

戸田市の施策、大きく前進



日本共産党
戸田市議会議員
むとう葉子

6月23日、戸田市議会6月定例会が終了しました。6月1日、先議案件として、戸田市上下水道事業の基本料金が4ヶ月減免となる補正予算が議決されました。

上下水道基本料減免

戸田市水道事業会計は独立採算で、平成30年度は黒字でした。もらい過ぎた料金をお返しするというイメージでしょうか。自粛生活で水道・光熱費は前年より上回っている家庭が多い中、生活の底上げは重要です。以前から市民全体への還元を求めてきた日本共産党と市民の要望が叶ったと感じております。

10万円支給期限延長、対象拡大

また、新型コロナウイルス感染症対策として、1円でも減収した小規模事業者・個人事業主に対し10万円支給の申請期限が7月末までに延長され、対象事業の拡大が決定しました。

請願や意見書が採択されました

市民の方から「戸田市におけるパートナーシップの認証制度（仮称）及び性的少数者に関する諸問題への取組に関する請願」が提出されました。この制度は、同性婚や事実婚などを現在の婚姻制度と同じように認め、行政サービス等が受けられるとするもので、私も一般質問で取り上げました。誰もが安心して暮らせるよう、また差別のない世の中を目指すことは、とても大事な視点です。全会一致で採択されたこと、とても嬉しく思いました。

また、議会最終日、日本共産党提案の意見書（「公立・公的病院を再編統合する計画の見直しを求める意見書」「医療機関の経営危機に対する財政支援を求める意見書」）が二件採択され国に意見書として提出されました。画期的なことですが、しかし「保健所の増設と機能強化を求める意見書」（PCR検査を増やし、感染者の行動、接触者の確認など予防対策を行う保健所の増設と機能強化を求めるもの）は、戸田の会が反対理由も述べず、唯一反対したため、国への提出はなりませんでした。



日本共産党 東部地域後援会ニュース



いつもニュースをお読みいただきありがとうございます。
ご意見、ご要望をお寄せください。



発行 日本共産党東部地域後援会

戸田市喜沢南2丁目5-16 むとう葉子事務所内
TEL/FAX: 433-5066

部内資料

むとう葉子市議ホームページ

HP: <http://www.mutou-youko.com/>

E-mail: i19414034@gmail.com

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊紙
3,497円
日曜版
930円

日本共産党街頭演説!!



伊藤岳 参議院議員
梅村さえ子 衆院北関東比例予定候補
塩川鉄也 衆議院議員

今回も憲法審査会で自民党改憲案を議論させなかったのは市民と野党の共闘の力だ。河野太郎防衛相の陸上配備型迎撃システム「イージス・アショア」計画停止表明も大きな成果だ。

一斉休校から3ヵ月、「教師がマスクや防護シールドをつけていて怖い」「給食の時間は一言もしゃべってはいけないと言われた」といった声が寄せられています。今こそ少人数学級を子どもたちにプレゼントしましょう!

国会で、「生命保険を解約して家賃を払った（飲食業）」、「4月だけで年間利益がなくなる（医療機関）」など、コロナの影響に苦しむ現場の声を届け続けました。

お知らせ

◆むとう事務所開いています
木曜日午後：2～3時
土曜日午前：10～12時
（遠慮なくお立ち寄りください）



聞いて
聞いて

読者からの投稿

こんな過ごし方しています

“コロナ禍”の今 自然エネルギーについて考える

コロナ禍で、少し余裕のできた一日、6月13日（土）、「複合危機をどう乗り越えるか」と題して飯田哲也氏（環境エネルギー政策研究所所長）の講演を聞く機会を得ました。

加速する自然エネルギー

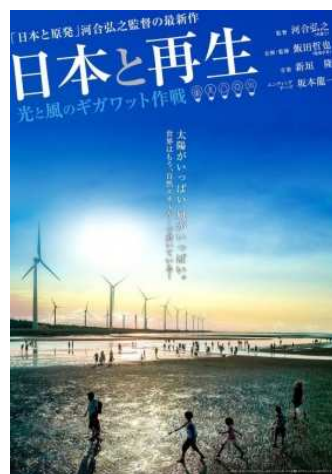
2011年3月11日の福島第一原発事故を受け、世界は原子力から自然エネルギーに大きく動き出しました。特にドイツでは、事故以前は原子力発電をベースロード電源に位置付けていましたが、原子力発電の廃止をいち早く打ち出し、自然エネルギーの活用が劇的に切り替えました。

世界は加速する自然エネルギーの拡大により10年前と比べて太陽光発電の電源コストは89%、風力発電の電源コストは70%削減されました。結果として2019年度末の世界の自然エネルギー発電量は、原発の発電量の約2倍以上になっています。

日本は、未だに原子力と化石エネルギー

しかし、日本は、未だに原子力と化石燃料をベースロード電源としています。日本の自然エネルギーの活用が進まないのは国と電力会社、財界の癒着です。

ぜひ、映画「日本と再生 光と風のギガワット作戦」（2017年製作）、飯田哲也氏が企画・監修したこの映画を 유튜브 で観てください。クリーンで安価なエネルギーで世界はもう動いていることが実感できるのではないのでしょうか。（喜沢南 H. Mさん）



映画「日本と再生」

<https://youtu.be/g8syYnOKTss>



自粛要請は解除になったけれど

梅雨寒の午後、思い切って半年ぶりに東京の病院に行きました。半年に一度、通院歴40年の検査で半年分の薬を頂く。電車に乗って座るまで緊張。ビニールの調理用の手袋をしていたのは私だけでした！雨のせいか受診者数も少ない感じ。12時半採血、診察は3時半。案の定、中性脂肪、コレステロール値が上昇。コロナ太りが痛い！ラッシュになる前に無事帰宅できましたが…疲れました。次回は東京を避けて埼玉の某病院に行くことに決めました。だんだん東京が遠くなりちょっとさびしい！（中町 M.Oさん）

今後ともよろしくお願いします

非常事態宣言が解除となり、支部と後援会はむとう葉子議員とともに政策宣伝を再開しました。金曜日は戸田公園駅で午後5時半から6時半。

土曜日は午前10時から宣伝カーで車上や、新鮮市場前、ヨークマート前で街頭からみなさんに政策を訴えています。宣伝中のご声援に元気をいただいています。今後は要求実現のための署名活動も再開していきます。

ご一緒に声を上げれば政治は変わります。今後ともご支援よろしくお願いします。

困りごとや相談がありましたら、むとう葉子事務所（TEL/FAX：048-433-

小池
都政

都民のみなさんの期待に応えてきたでしょうか？

東京都知事選

宇都宮けんじさんが立候補・健闘

ところを一つに野党が応援



緊急事態宣言は解除されましたが、一人ひとりの命とくらし、営業と雇用が深刻な危機に直面するなかで、都政のあり方が問われています。

4年前、「東京大改革」を掲げて、「反自民」の改革者として登場した小池知事は「あふれんばかりのぜい肉をつけてしまった巨大な肥満都市東京」とまで批判しましたが、今や、巨大開発をつぎつぎ進め、命とくらし・福祉を置き去りにする「自民党型都政」への道を進んでいます。

すべての公約は投げ捨て

都立病院・公社病院の独立行政法人化も、カジノ誘致の検討も、羽田新ルート推進も、小池知事が4年前に掲げた「都民が決める、都民と進め

る」の公約と真逆です。「築地を守る」と公約しながら、築地を破壊して売り渡し、問題だらけの豊洲新市場を都民に押し付けてきました。待機児童ゼロや残業ゼロ、介護離職ゼロなどの公約はどれも実現していません。「都政改革の1丁目1番地」と言ってきた情報公開の黒塗り・ノリ弁をなくすという約束も守られず、「多摩格差ゼ

「の公約も」にしくなりました。

宇都宮けんじさんは

都民一人ひとりの雇用、営業、住まい、くらし、命を守る政治に転換しましょう。ポスト「コロナ社会」の「自己責任から抜け出して、お互いに支えあう社会」を築こうではありませんか、と呼び掛けています。

5066)や、蕨・戸田地区委員会（TEL：048-443-8332/FAX：048-444-6531）にご連絡してください。また、下記QRコードのHPの問い合わせフォームから、むとう葉子に直接メールをお送りください。

